

VUV-SX 懇談会 2024 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2024 年 5 月 28 日（火）

場所：オンライン会議

出席者（敬称略）：解良聡（会長）、安居院あかね、雨宮健太、虻川匡司、木村真一、奥田太一、北村未歩、木下豊彦、関山明、堀場弘司、松井文彦、山本達
オブザーバー（敬称略）：木村隆志、松田巖、原田慈久（議事録担当）

議題：

1. 委員長の指名・承認（会計、編集、計画、庶務、会計監事）
2. 令和 5 年度会計報告
3. 会則の改定について
4. ニュースレターについて
 - ・会長挨拶（ホームページにも掲載）
 - ・特集
5. 今年度の活動予定

議事内容：

0. はじめに、各委員からの自己紹介があった。

1. 委員長の指名・承認（会計、編集、計画、庶務、会計監事）

解良会長より、委員長と会計監査の選出案が提示され、承認された。

庶務：木村先生、会計：奥田先生、編集：北村先生、計画：堀場先生

会計監査：山本先生

2. 令和 5 年度会計報告

奥田前会計委員長より、令和 5 年度の会計報告がなされた。収入は前年度繰越金と賛助会費で合計 1,502,612 円、支出は通信費と雑費で合計 134,770 円、差引残高は 1,367,842 円であった。山本会計監査より内容に問題ない旨報告があった。

3. 会則の改定について

会則改定の経緯と主な変更点について解良会長より説明があった。

・第 2 条の目的が「全国的な組織として高輝度光源の開発並びに利用に関わる情報交換の円滑化を図る」と変更されること、正会員の会費を無料とすることが承認された。

・委員会名称の変更、計画委員会の目的変更なども提案され、継続審議となった。

・物性研所員のオブザーバーとしての幹事会への参加についても議論された。事務局の機能は引き続き物性研が担い、所員には次回より被選挙権を与えることが確認された。そのことを会則にも明記することが提案され、承認された。

4. ニュースレターについて

・ニュースレターの位置づけと編集体制について議論された。編集委員会を立ち上げ、北村委員長のもと 3 名程度の実働体制で進めることとなった。

・随時記事をウェブ掲載し、年 1 回まとめてニュースレターを発行する方針が確認された。次回幹事会で具体的な活動内容を議論する。

・会長挨拶記事に絡めて、会長より、放射光に限らず、レーザー光源などを含めたコ

コミュニティ拡大と意識改革を行う旨の方針が示された。

5. 今後の活動予定について

- ・解良会長より、レーザーコミュニティとの交流により本懇談会の活動範囲を拡張していくことを含めた懇談会の活動方針が示された。
- ・計画委員会（堀場委員長）を中心に、研究会やシンポジウムの企画を進めることとなった。
- ・懇談会の予算を有効活用し、賛助会員への見学会開催などのインセンティブ付与について提案があった。今後検討する。
- ・次回幹事会は7月頃に開催し、具体的な企画を議論する。
- ・非公式な若手の会合を並行して開催し、懇談会の活性化に繋げる提案があった。

以上